

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名： 幸せ長寿課 シートNo： 18 作成日： 2024/5/27

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	背景・課題 電子@連絡帳JOSOシステムは、平時では、在宅医療と介護の連携が必要であること、また災害時には要援護者台帳の整備や多職種連携が重要であることから、情報共有ツールとして活用しています。	目的・意図 電子@連絡帳JOSOシステムを利用し、地域の医療・介護に携わる専門職が情報を簡単に共有することで、安心して在宅での生活が送れるように支援する体制を整えるとともに、災害発生時には、要援護者等の安否確認を目的として使用していきます。
	施策の目標	1生涯にわたり市民の健康を守り、育む		
	施策	2医療		
	施策内容	医療・介護の連携		
	その他、根拠法令及び分野別計画	介護保険法、介護保険法施行規則、地域支援事業実施要綱		
	事務事業名	医療介護情報共有支援事業		

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	民生費
	項	社会福祉費
	目	老人福祉費
	事業	医療介護情報共有支援事業

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
電子@連絡帳JOSOシステム操作説明会	市職員、医療介護関係者	2回	3回	23名（参加者）	30名（参加者）
電子@連絡帳JOSOシステム要援護者台帳運用訓練	市職員、医療介護関係者	1回	1回	152名（安否確認者）	170名（安否確認者）
チラシ等の周知	市民	1回	1回	3,337名（登録患者数）	3,300名（登録患者数）
緊急通報システム利用者へのアンケート調査	市民（緊急通報システム利用者のみ）	1回	1回	配布 288枚 回収 196枚	配布 300枚 回収 150枚

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
電子@連絡帳JOSOシステム登録患者数	3,337名	3,300名
JOSOシステム利用者の満足度	71.40%	90%

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
電子@連絡帳JOSOシステム利用者数	402名	450名
緊急通報システム利用者の満足度	81.50%	90%

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐	その他	今後も操作研修や現状報告、ICTツールの利便性などをJOSOシステム利用者に周知し、JOSOシステム利用者や登録患者を含むグループ化の増加を促していく必要があります。 また災害時情報共有及び広域連携を検討し、在宅医療と介護の連携促進を図っていきます。 ※「JOSOシステム利用者」とは、在宅医療と介護の連携のためシステムに登録している、医療や介護の専門職を指します。
業務の振り返り								
利用者を対象にした操作研修会を行う等、周知活動を実施し、利用者登録が進み、システム利用は順調に増加しています。また市民への周知等により、患者情報を増やし、より利用者の更なる活用に努めていきます。								